

ときめき

Beating Kashima

鹿島

2014.8
夏号
48号

ポラリス

★ポラリス(北極星)を目指すには北極星を先に分けること。目指すところ(方向)は一瞬でもやり方はそれぞれ多種多様。一人一人の思いをエッセイの形で伝えたい。

戸田先生のポラリス 鹿島レンジャーに学ぶ

診療部長 戸田 博 敏

「鹿島レンジャーの思い出」より「鹿島レンジャーに学ぶ」。この方がいい、現在と、未来を感じるから。鹿島レンジャーは2008年、第5回鹿島病院院内研究発表大会で鮮烈にデビューしました。この年の院内研究、午後の部は「終末期医療を考える討論会」が企画されていました。その前半、後半の間の賑わしに何か出来ないかなと考えました。何かやってくれそうなのは誰かと考えた時、若者3人(いずれも介護の仕事をしている)の顔が浮かび、簡単なコントの筋書を作りました。趣旨を説明し出演を依頼しました。何か思うこと、感じるどころがあったのでしょうか、即、引き受けてくれました。コントの筋書を手渡した瞬間、企画は私の手から離れ、彼ら自身のものになりました。並行して小鯖院長(当時)に企画とコントの筋書をみていただきました。予想通りOK(=反対意見なし)でした。しかし、私の作った筋書は跡形もなく書き換えられ、私まで人質役で出演する羽目になりました。頼むことは頼まれること?こんな格言あったかな?演目は「鹿島レンジャー」だという。世代が違うからか初め聞いたときはピンと来ませんでした。討論会のテーマがテーマだけにその中で笑いのある賑わしは、いささか高いハードルでしたが、メッセージ「今、鹿島病院の終末期医療が問われているってことは、俺たちが問われている」が込められていました。結果はテーマの重苦しさを吹き飛ばし、大うけとなりました。この時はまだ、鹿島レンジャーが続いてゆくとは本人たちはもとよりだれも知る由がありませんでした。頼みごとは、頼まれた人が自分のこととしてとらえた時成功するといわれます。これを目の当たりにし実感できたというか予想以上でした。翌

年2009年は「帰ってきてしまった鹿島レンジャー」、メッセージは鹿島病院には若さが足りない、未来へ挑戦する。鹿島病院の唄(作詞作曲 小鯖覚)感動の大合唱、とコラボしました。これについては機会があれば文章に残したいと思っています。自ら考え、工夫し、仲間と演じる。そこには何かがあります。



基本理念

私たちは、仁愛の心をもって「医療と介護サービス」を提供し、地域に貢献します。

基本方針

1. 鹿島病院を中心に地域と連携して、良質な慢性期医療を確立します。
2. 患者様・利用者様の人権を尊重し、思いやりとつくしみの心で接します。
3. 技術や知識向上のため、たゆまぬ努力を行ないます。

行動指針

1. Safety …安全を最優先します。
2. Speedy …変化に能動的に挑戦します。
3. Service …おもてなしの精神で接します。

医療法人財団公仁会中期ビジョン2013

中期ビジョン2013

慢性期医療の確立

1. 病院機能

- (1)慢性期医療の推進
- (2)回復期リハビリテーションの推進と積極的拡充
- (3)特殊疾患、回復期、療養病棟の再編成の検討
- (4)医療療養病床平均在院日数135日を目指す
- (5)後発医薬品の使用促進

2. 在宅サービス機能

- (1)在宅サービスの質の向上
- (2)医療、介護関係機関との連携強化
- (3)在宅サービスの評価・検討・組織力強化

3. 医療安全対策の推進

- (1)感染防止対策の活性化
・専門的知識のレベルアップ
- (2)医療安全対策の活性化(医療安全、医薬品、医療機器)
・専門的知識のレベルアップ

4. 地域連携及び地域貢献

- (1)急性期及び介護保険施設の支援病院としての機能強化
- (2)地域の診療所との連携
- (3)患者退院後の地域連携の確立
- (4)予防医療や介護技術を地域へ普及

5. 高齢者や障害者を意識した施設・設備・環境の整備

6. 継続的な医療サービスの質の改善への取組み

- (1)機能評価の評価に基づく継続的改善活動
- (2)臨床指標(Clinical Indicator)の検討・活用
- (3)患者満足度向上の組織的取組み
- (4)診療録・看護記録等の質の向上

7. エコロジーへの取組み

8. 人材の育成

- (1)職員教育体系の構築
- (2)専門的知識を有するスタッフの育成
- (3)人事評価体系の構築

9. 電子カルテシステムの評価、改善

10. リスクの軽減とリスクへの備え

- (1)組織的なリスクの再評価、再検討
- (2)新型インフルエンザ対策
- (3)原子力災害への対応

患者様・利用者様の権利宣言

平成21年10月1日改定

1. 個人の尊厳

患者様・利用者様は、ひとりの人間として、その人格・価値観などを尊重されます。患者様・利用者様ご自身が意思表示や意思決定できない場合は、ご本人の尊厳を最優先にご家族と当財団のスタッフでよく話し合い決定していきます。

2. 平等で最善の医療と介護サービスを受ける権利

患者様・利用者様は、平等で安全に配慮された最善の医療・介護サービスを受ける権利があります。

3. インフォームド・コンセントと自己決定権

患者様・利用者様は、医療と介護サービスに関することについて、わかりやすい言葉や方法で説明を受け、その内容を十分に理解した上で選択・同意し、適切な医療・介護サービスを受ける権利があります。

また医師から提案された医療・介護サービスに同意できない場合は、拒否することもできます。拒否することで不利益をこうむることはありません。その選択にあたっては、他の医療・介護サービス機関の意見を聴く(セカンドオピニオン)ことができます。

4. 情報に関する権利

患者様・利用者様は、当財団で行われたご自身の医療・介護サービスに関する情報の提供を受ける権利があります。

5. プライバシー及び個人情報の保護

患者様・利用者様は、私的な生活を可能な限り個人に授けられない権利があります。医療・介護サービスの過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳守され、患者様・利用者様の承諾なしには開示されません。

鹿島病院臨床倫理の方針

平成22年1月1日制定
(平成22年1月6日 第1回委員会)

1. 患者様の人権を尊重するとともに、患者様と医療従事者が協力して公正かつ公平な医療を提供します。
2. 患者様ご自身が意思決定できない場合は、ご家族と十分に話し合い治療方針等を決定します。

3. 科学的に正当で適切な医療を患者様・ご家族の同意の上、多職種よりなるケアチームで決定します。
4. 患者様の信実や価値観を尊重した医療を提供します。
5. 臨床研究は、倫理的審査を行った上で患者様・ご家族の同意に基づき実施します。

鹿島病院臨床研修を終えて

平成26年6月の1ヶ月間、鹿島病院で研修をさせていただきました。私は急性医療の経験がないため、地域医療、慢性期医療とはどういったものなのか期待いっぱい研修をスタートしました。

まず、第一に感じたことは外が自然に囲まれているのももちろんのこと、病院内も非常に環境がいいということでした。特に病院内に独特のにおいがいいことには驚かされました。その理由として清潔を保つ中で特に口腔ケアに力を入れていると聞いた時は、目からウロコでした。

また、スタッフの方々が患者様のことを第一に考えて行動され、家族の方を交えてのカンファレンスを繰り返されているのを見て、チーム医療とは何たるかを学ぶことができました。往診にも何度も同行させていただき、患者様に全人的な医療を提供できるのが地域医療、慢性期医療の魅力だと感じました。

松江赤十字病院 研修医2年目 矢鋒 隆史

1ヶ月という短い期間でしたが大変貴重な経験をさせていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今後の医師人生に活かしていきたいと思っております。



NST療法士実地研修を終えて

鹿島病院様に、NST療法士実地研修を受けさせて頂きました。

受入をお願いした当初から、担当の中橋さんがとても、快く受けて下さり、スムーズに研修を受けさせて頂きました。

研修中には、「初めての事」が多く、毎回、新鮮な気持ちで望め、とても充実していました。スタッフの皆さん、一人一人が、親身に対応して下さいたり、気さくに声をかけて下さったりと、楽しい研修もありました。特に、看護師さんの、コントのような滑稽の講義が楽しかったです(笑)!!

心配だったのが、車の運転でした。普段15分の距離しか運転しません。自宅から一時間近くかかる為、遅刻しないように、事故しないようにと、いつも緊張していました。

緊張の運転のBGMが、ピアニストのアリス=紗

奥出雲コスモ病院 管理栄養士 城 恵美子

良・オットーの曲でした。彼女の言葉で「学ぶ力は人間が神から与えられた一番の宝」があります。才能だけでなく、学ぶことを忘れず、努力しなければならないと実感します。

最後になりましたが、日常業務が忙しい中にも関わらず、研修を快く受けて下さった、スタッフの皆さんに、感謝しております。本当にありがとうございました。



医療安全研修を終えて

5月27日と6月4日の2日間で計4回医療安全研修を行いました。私たちは毎日仕事の中で、患者さんの事を考え行動しています。しかし、その行動の中には何気なくであったり、思い込みで行っていることも多々あるのではないのでしょうか？

研修を終えしばらく経ちましたが、患者さんの安全について個々でも取り組まれていると思います。また病院全体としても「声だし確認」を年間目標にした取り組みがなされ、各部署から色々な場面ではっきりとした声が聞こえてきています。

「人間は誰でも間違える」を前提に「指差し・声出し・目で確認」を徹底し、周囲に聞こえるくらい声を出し、薬や業務のチェック時など患者さんの命を守るためにも習慣化していくことが大切です。そして、危険について互いに注意し合うこと。上下・先輩後輩関係なく注意する勇気と、注意されることを受け入れる謙虚さが求められます。自分

看護部 清水 二三代



には見えないところも他人から教えてもらうことで事故防止につながります。職種や経験の壁を越え、チームの一員として実践することが望まれます。

事故を未然に防ぐためみんなで声を出していきましょう。



肺炎予防の講座を行いました

6月25日(水)に古浦公民館に於いて、肺炎予防の講座を行わせて頂きました。

古浦公民館では、月に1回地域の住民の方を対象に、カフェを開催しながら様々な催し物をされているそうで、その中の一つとして今回肺炎予防についての講座を行いました。

前半は肺炎についての話をし、後半は嚥下体操と一緒に行いました。皆さん真剣に話を聞いて頂き、終始和やかに終わることができました。

ご協力して頂いた皆様ありがとうございました。

看護部 井上 明子



第12回 松江圏域地域リハビリテーション勉強会を開催しました

平成26年5月1日、当院リハビリテーション室に於いて松江圏域地域リハビリテーション勉強会を開催しました。

松江市内だけでなく、島根県東部地区の各施設・団体から54名参加がありました。

講義内容は摂食・嚥下について、基本的な内容が中心でしたが、参加者の方から「分かりやすかった」との声をいただきました。

リハ部 山根 広紀



当院で撮影した嚥下造影検査の画像を見ていただいたり、トロミをつけたお茶を実際に飲んでいただいたりしました。

とても緊張して上手く話せたか自信がありませんが、皆さまの温かい声と協力によってこの会を成立させることができたと思います。ありがとうございました。



つうしょテラス

通所リハビリ農園

利用者様がリハビリの一環として草取り、土づくり作業をし、春活動開始した苗が少しずつ育っています。成長、収穫が楽しみです。



利用者様の作品紹介

ご自宅などで作られた作品を飾らせていただいています。力作ぞろいです。



レクリエーション紹介

デイサービスにおいて、カラオケでお馴染みの第一興商さんがお試してレクリエーションをしてくださいました。音楽を取り入れたいつもと違うレクリエーションに、皆さん興味津々、一生懸命取り組んでおられました。



踊りボランティア来院

地域のボランティアグループのあじさいグループさんが踊りを披露してくださいました。年に数回、日頃の練習の発表の場として来ていただいています。皆さん毎回楽しみにしておられます。



調理レクリエーション (フレンチトースト)

栄養課の協力で皆さんとフレンチトーストを作りました。もちろん、美味しくいただきました。



健康コーナー 豆知識

健康診断 ここがっぼ

診療部検査科
野田以登子



ただ今、後期高齢者健診など様々な健康診断が行われています。職員健診も終わりに近づきましたが、受診者の皆さんに知って得する(?)豆知識をご紹介します。

みなさん、はじめに尿を採取されますね。検尿検査において、「中間尿を取ってください。」と言われるのはなぜでしょうか?中間尿とは?採尿の際に、最初の尿はカップに入れず、中間に出る尿だけをカップに入れ、後の尿もカップに入れない。この方法で採取した尿が「中間尿」です。この方法は、最初の尿で陰部を洗浄する役目があり、扁平上皮細胞などのコンタミネーションを防ぐ意味があります。特に女性の方は膈、外陰部の混入物を避ける意味では大切です。その他、検尿検査においては偽陰性、偽陽性が起こる場合があります。例えばビタミンCを多く含む飲料を飲んだ場合は、尿糖が偽陰性になる場合があります。薬剤や洗浄剤などによって尿蛋白が偽陽性になる場合もあります。

では次に、血液検査で「食事をとらずに受診してください。」と言われるのはなぜでしょうか?食事によって影響を受ける項目がいくつかあります。血糖(GLU:グルコース)は、空腹時血糖を基本としています。血糖は食べた時間、食事内容で値の変動が著しい項目です。その他、中性脂肪(TG:トリグリセライド)も食事の影響を受けます。前日に油ものや焼肉などを摂取されると高値になる可能性は大です。

食事のみならず、運動などにより高値になる項目もあるので、なるべく安静な状態で採血された方がよいと考えます。

喫煙もなるべく控えられた方がよいでしょう。ニコチンは血管を収縮させる働きがある為、血圧値に影響があるとされています。血圧高めの方はこの機会に禁煙にチャレンジされてはいかがでしょうか?また、身長や体重においても、一日の変動は大きく、身長は朝起きた時が一番高いといわれています。血圧や体重は毎日、同じ時刻に測定すると変動がよくわかりますので、ダイエットに挑戦されている方は測定時刻に要注意です。

最後に「基準値」についてお話ししましょう。

検査の結果報告書には必ず「基準値」が書かれています。「基準値」はかつて「正常値」と呼ばれ、正常値に入っているかないかで一喜一憂されていた方も少なくないでしょう。しかしながら「正常値」は個人の健康、生命予後や疾患に関する判断を下すための値であり、本来個人個人によって正常値が異なっています。「正常」という言葉そのものに問題の根源があるとされ、「基準値」に変わりました。「基準値」は厳密に性、年齢、生活習慣、検体採取条件を同じくする健康な基準個体から得られた計測値であり、基準範囲は基準個体の計測値の中央値を含む95%が含まれる範囲のことです。項目によっては、一日のうちでも変動のある項目もあり、採血条件などの影響や変動幅も考えると基準値にあてはまらないからといって即異常とせず、あくまでも「物差し」ととらえるべきです。そして毎年の健診の結果を忘れずに、ご自分の正常値を把握することが大切です。



詩のコーナー

「白鷺」

エドナ・セントジョンセント・ミラー

Edna St. Vincent Millay

(一八九二〜一九五〇)

白鷺の群れが飛んでゆくのを見たとき

わたしは自分の心の中を覗き込んだ。

もしかして

今までと違う何かが、

そこに生じてはいないかしら?

疑問が一つ減ったが、

あるいは増えたくらいで

頭上をゆく野生の飛翔に

見合うものは何もなかった。

鈍感な心よ――

生きているようで死んでいるように

いつまでも風が入ってこない窓みたいな心を

わたしはあとにした。

外へ出て心のドアに鍵をかけた。

白鳥たちよ、お願い!この物の上にもまた

飛んできて、

もう一度足を獲るにのぼして

鳴きながら、わたしの土を飛んで――

「感謝ありがよい」 「わいわいあった。」

サービス向上委員会では季節毎にマナーアップの標語を募集し、応募作をボスターとして院内に掲示しています。
今回も患者様、利用者様から多くの応募がありました。力作を一部ご紹介させていただきます。

声がけに

励まされる日 ありがとう

柳原ケイコ

満面の

笑顔が心を 和ませる

匿名

あいさつは

少しの勇氣と いい笑顔

ディサービス 通いびと

えがおで あいさつ

うれしいな

ディサービス とみよし



漫画コーナー

検査室のつぶやき



この話はノンフィクションです。

川柳のコーナー

吉岡花子

・年齢ね在るがままなるひと時の
此の振れ合ひに心明るむ

・八重垣の森の衆に若き等の
縁占ひの声の賑やか

・遠かなる記憶の糸を辿りつつ
なつかしき人と手を握り合ふ



ミミちゃん

この人だ〜れ?



小さい頃は男の子に間違われていました。



3さいのひもおとしの時です。お家の庭ではい、ポーズ。

答えはP8▶

お知らせコーナー

人事のお知らせ

〇入館

診療部
栄養課

狩野 晋利



①バドミントン・スポーツ全般
②絶叫マシンに乗る事

●5月より勤務する事になり、男一人という場ですが早く仕事を覚え、皆さんの役に立てるよう精一杯頑張りたいと思います。今後とも是非宜しくお願い致します。

リハビリテーション部
口腔ケア科

深井 友紀子



①旅行(国内、海外どちらでも)
②お菓子・パンづくり

●入職して、約1ヶ月半経ちましたが、まだまだ分からないことばかりで毎日緊張の連続です。ご迷惑をかけることもあると思いますがよろしくおねがいします。

診療部
栄養課

樋野 早紀子



①お菓子づくり・ドライブ
②旅先での写真撮影

●初めての病院勤務に緊張していましたが、鹿島病院の雰囲気の良いさに安心しています。笑顔で頑張ります。よろしくおねがいします。

看護部

皆尾 亘



①音楽鑑賞
②寝ること、曇り空・雨・台風

●7月からこちらに勤務させていただいています。視能訓練士として約10年、眼科診療一筋に携ってききましたが、心機一新看護業務にて頑張らせて頂くことになりました。一日でも早く皆様のお役に立てる様精進して参ります。宜しくお願い致します。

〇任命

看護師
介護福祉士
介護福祉士
介護福祉士

西田 重美 (看護部准看護師)
小林 徹 (看護部介護職員)
奥原 智徳 (在宅サービス部通所介護介護職員)
廣江 径子 (看護部介護職員)

〇異動

在宅サービス部通所

中川 豊 (看護部介護職員)

〇退職

看護部

佐野しおり
池田あずさ
山本 利恵

診療部栄養課

この人
だ〜れ?



看護部
全坂 晴美さん



在宅サービス部
安達 久仁夫さん



公仁会事業報告 3・4・5月

療養看護定員数 強化項目
U・ハビリ・部

〇鹿島病院

①外来部門

3月~5月の平均(診療日数97日)	1日平均人数
外来受診患者数	1,076人
	16.1人/日

②病棟部門

②-1
特殊疾患病棟
(2F)

3月~5月の平均(月日数:92日)	平均在院日数
昼入院患者数	5,466人
リハビリテーション実施患者数	2,299人
リハビリ実施数	2,200単位
	24.6単位/日

②-2
回復期リハビリ
テーション病棟
(3F)

昼入院患者数	4,191人
リハビリ実施患者数	965名
リハビリ実施数	348単位
回復期リハビリ	307人
	3.9単位/日

②-3
医療療養病棟
(4F)

昼入院患者数	6,240人
リハビリ実施患者数	13,293名
リハビリ実施数	12,980単位
回復期リハビリ	425単位
	4.9単位/日

②-4
認知症介護

ショートステイ利用者数	26人
	6.3人/日

〇在宅サービス部

①通所リハビリ

“やまゆり”

(稼働日数78日)	1日平均利用者数
通所リハビリ利用者数	2,501人
毎朝通所リハビリ実施数	54単位
毎朝通所リハビリ実施数	126単位
個別リハビリ実施数	2,160単位
	27.7単位/日

②鹿島病院 デイサービス センター

(稼働日数78日)	1日平均利用者数
通所介護利用者数	1,918人
	24.6人/日

③訪問看護

“いつくしみ”

(稼働日数61日)	1日平均利用者数
訪問看護士利用者数(訪問)	322人
訪問看護士利用者数(訪問)	784人
訪問看護士利用者数(訪問)	220人
	5.3人/日
	12.6人/日
	3.6人/日

④鹿島病院 やまゆり居宅介護 支援事業所

(稼働日数61日)	1日平均利用者数
居宅介護支援利用者数	398人
居宅介護支援利用者数	45人
	13.2人/月
	1.5人/日

職員数

職 種	職員数(名)
監 査 部	5人
医 務 部	2人
F T	21人
O T	19人
S T	5人
看護部看護士	78人
訪問看護士	2人
診療科医士	1人
社会福祉士	5人
介護福祉士	6人
介護福祉士	48人
准看護師	2人
管理栄養士	4人
その他	49人
合 計	247人

20.61単位

地域連携室便り 40

「最近の地域連携構造上の諸問題」

近年、全国的に「地域連携の構築」が叫ばれ、県や市もようやくその重要さに気付き始め、多くの会合が開かれるようになってきた。いくつかの地域連携モデルや松江記念病院において休日、祝祭日の救急外来が院内に設置され、多くの救急患者が押し寄せる盛況ぶりである。これは急性期病院—松江記念病院—かかりつけ医の連携の成功例である。

鹿島病院が近年取り組んでいる「かかりつけ医との交流」がいかに重要であるか身をもって学ぶことになった。当院が置かれている種々の問題を素直に伝えることにより、当院に対するかかりつけ医のイメージが大きく変わることになった。

また、かかりつけ医のイメージも交流によって変わり始めている。それによって当院を頂点とした「患者の流れ」が出来つつあることは地域連携を構築していく上に極めて有用なものになりつつあり、それによって急性期病院の過度の救急患者の受け入れが少しでも減少していくことを期待したい。

県や市の描く地域連携の構図はあくまでも机上の論理である。松江市の持つ多くの諸問題の上に机上の論理をあてはめることは必ずほころびをもたらすことになる。例えば医師・看護師・介護士不足など人的資源の減少、高齢者の急速な増加、急性期病院を支える慢性期病院のベッド数の少なさ及び慢性期病院の少なさ、当院の周辺地域（鹿島町、島根町、美保関町など）にかかりつけ医がきわめて少なく、かつその守備範囲が広範に及ぶことなど問題は多い。

このような状況下において国の施策である「在宅医療の活性化」は期待できない。そこに浮上してくるものが老健、特養に加え有料老人ホームなどの老人福祉施設である。

医師の立場からすると施設での痰の吸引、経鼻胃管患者の積極的な受け入れ、看とり患者の受け入れが進めば地域連携はさらに進んでいくものと考えている。



理事長
小 鯖 覚

独居老人、老々介護、家族がいても日中独居、家族のサポートが得られない、など様々な問題を抱えているケースが散見される。ここで重要な役割を果たすのがケアマネジャーであり、訪問看護・介護である。

今、地域連携の中でケアマネジャーとかかりつけ医との間に生じている連携の希薄さがクローズアップされてきた。本来、多職種の間にあるものは互いを認め合うことであるがそれがなかなかうまくいっていないケースが増えてきたのではないかとケアマネジャーの中にはかかりつけ医と対等に話すことが出来ずにコミュニケーションがとれない、訪問するタイミングが合わず、嫌な顔をされるので会いに行きたくない、などの問題が持ち上がっている。客観的に観れば両者のどちらにもその責任があるように思われる。ケアマネジャーは患者の最新情報を医師に提供し、かかりつけ医から指示をもらうこと。医師はケアマネジャーから得られた情報から適切な指示をすることで在宅医療が成り立っているのである。

では何故、両者の間に軋轢が生じるのであろうか？それは会話の内容は重要なことを話し合っているにも関わらず、お互いが知り合っていない、関係が薄すぎる、相手の性格も知らずに一方的に話したりして不快な感情を与えてしまうことに起因するのではないだろうか？例えて言えば道行く人にいきなり「人生とは？」と問いかけているようなものである。まずはお互いを十分理解することが肝要であると思われる。

今は真の意味での地域連携を創り上げるチャンスの時と考える。それに関わる方々が真に取り組みされることを期待したい。

ときめき広場



フォトギャラリー

通所リハビリテーション室では、毎月お題を決めてスタッフでフォトコンテストをしています。利用者様や職員からの投票でその月のベスト1を決定。年間のベスト1を集めてフォトギャラリーを開く計画です。今回のテーマは「風」と「水」でした。



レガッタ大会に参加しました。

リハ部 景山 晋一

今回尾原ダムで開催されたレガッタ大会に参加させていただきました。3年ぶりです。ぶっつけ本番であった為か最後の方では体がついていかない状態でした。結果は予選敗退でしたがチーム皆一体感をもって取り組めて楽しかったです。また機会があれば参加していきたいと思えます。



編集後記

これから夏本番!!夏といえば...
 ~夏祭り・花火・海水浴・レガッタ・BBQ~ 夏はイベントが盛りだくさんですね!
 お家に風鈴を飾ってみてはいかがでしょう?
 風鈴の音を聞きながら「ときめき広場」を読んで、今年の猛暑も乗り越えましょう。
 事務部 向村 仁美

編集者：発行：発行所：福利厚生 広報課 社会参事

株式会社 尾原建設株式会社 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

（本社）〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

電話：TEL 03-5521-8221 FAX 03-5521-8222

福岡支店：TEL 092-282-2540 FAX 092-282-2541

東京支店：TEL 03-5521-8221 FAX 03-5521-8222

大阪支店：TEL 06-6543-2540 FAX 06-6543-2541

京都支店：TEL 075-252-2540 FAX 075-252-2541

印刷所：千代田印刷株式会社